慶應志木会会報

慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）

2025 vol.45

Artwork ©Enrico Isamu Oyama / EIOS, Photo ©Shu Nakagawa

目次

寄付・協力金についてのご案内

次年度からの会報郵送について

志木会の活動はいつも多彩、そして若い世代へ

・枇杷の会、歩こう会よりお知らせ
・同期会＆OB会だより
・ホームカミングデー
・卒業40周年ご招待　ほか

母校の「今」がわかります

・體育部會、文化部会NOW／クラブ戦績
・志木高・志木会行事日程　ほか

収支報告、役員・幹事・クラブ幹事一覧

会長ご挨拶

慶應志木会会長
小坂 孝樹

慶應志木会会長に就任し、早くも1年が経ちました。振り返れば想像以上に目まぐるしく、瞬く間の出来事の連続でした。その歩みの中で、坂上前会長をはじめ歴代役員・執行部の皆様のご尽力、そして開設75年記念事業募金という偉業の重みを改めて実感し、心より感謝申し上げます。

さて、会長就任後、最初の公式行事は2024年4月6日の入学式でした。247名の新入生を迎え、新たな志木生活が始まりました。その後も6月の幹事総会、9月の光彩館での銘板披露会、志木マスターズ（於:程ヶ谷カントリー倶楽部）、10月の連合三田会における一貫教育校同窓会会長・副会長との懇談会、収穫祭時の卒業25年・50年（24期・49期）記念ホームカミングデー、11月にはオークラ東京での五高等学校同窓会、そして2025年に入り2月の幹事新年会、3月23日の卒業式では75期の皆さんを新たに志木会の仲間として迎えました。また、卒業40年を迎えた34期（40名）、35期（80名）の皆様、総勢120名をご招待し、篠田元教諭、澤田元教諭、足立元教諭にもご臨席いただきました。新型コロナウイルスの影響により一時中断されていたご招待行事も、今回は2期合同という形での開催となりましたが、今後は従来通り1期ごとの開催を予定しております。3月には「感謝の会」や30期の同窓会も開催され、山食には70名以上が集まり、懐かしさと喜びに満ちた時間を共有しました。このような素晴らしい集いが実現できたのも、学年幹事を中心とする有志の皆様のご尽力の賜物です。

4月6日の入学式では、ご家族の皆様に志木会のご案内を行うとともに、近くにお座りの保護者同士が言葉を交わす時間を設けました。入学式の場でこうした交流は珍しい試みでしたが、新入生同様に「初対面の方と話す緊張や楽しさ」を共有いただけたようで、多くのご家族からご丁寧な温かいお言葉を頂戴いたしました。4月24日に開催された五高同窓会の打上げ会では、各校の会長より「志木会のつながりの強さは素晴らしい」と称賛いただき、大変光栄でした。こうした数々の行事が円滑に実施できたのは、日頃からの役員・事務局との綿密な打合せ、そして河野校長、中島事務長、芹澤さんをはじめとする志木高校の教職員の皆様、執行部、学年幹事の皆様、そして何より会員の皆様のご理解とご協力のお陰です。心より御礼申し上げます。

現在の役員・事務局は30期を中心に構成されており、私を含め、組織改革・活性化の実績を有するメンバーが揃っています。不動産三田会の前会長・副会長といった経験豊かなメンバーもおり、この1年で志木会の組織体制や役割分担も大きく整備されてまいりました。今後も、会員相互の親睦と発展をはかりながら、志木高校の継続的な発展に寄与すべく、志木会の財政基盤を安定させ、より魅力的で有意義な会を目指し、絆の深化に努めてまいります。

結びに、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心より祈念申し上げますとともに、引き続き慶應志木会へのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

名誉会長ご挨拶

慶應義塾志木高等学校長
慶應志木会名誉会長

河野 文彦

　慶應志木会報第45号の刊行にあたり、心からお慶び申し上げます。
会員の皆様におかれましては、日頃より様々なご支援を賜り誠にありがとうございます。
慶應義塾志木高等学校を代表して、厚く御礼を申し上げます。

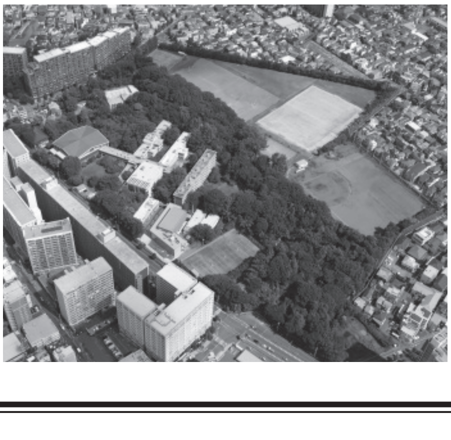
　慶應志木は、1.多様性ゆたかなキャンパス　2.専門性の高い授業　3.創造性あふれる生徒　の三つを特徴として、慶應義塾大学を始めとするあらゆる教育機関や各界へ優秀な人財・人格を送り出す、たいへん独創的な学校です。

　最新の航空写真をご覧ください。周りを都市部に囲まれ、ここだけ武蔵野の雑木林や野火止用水址をとどめ、数多の生き物が苦楽を共にする自然生態系の中に、私達の校舎があります。他に類のない貴重なキャンパスです。生活すべてが自由と独立自尊の精神によって貫かれている本校の教育は、福澤諭吉先生ご自身の体験に基づく、互いの立場に拘わることなく学び合い・教え合い・高め合うという慶應義塾創立以来の「半学半教」を実践することにあります。また、この広大なキャンパスを寄付した松永安左ヱ門氏の生き様そのものと言える、決して権力や権威におもねらない「不撓不屈」の精神は、本校開設以来脈々と伝承されております。慶應志木で青春を過ごす人は誰もが皆、おのおの異なっていることがいかに大切であるかを理解し、持てる力と時間を最大限に生かして柔軟な思考を養い、あらゆる可能性を追求し、真に自分の打ち込めることを見つけてそれを実行する、という得難い経験をすることができるのです。

　去る3月23日卒業式は、髙橋美樹元校長を始めとする元教諭の皆様や小坂孝樹会長を始めとする志木会メンバーそして34期40名・35期80名の皆様をお迎えして、75期卒業生228名の門出を祝いました。山内慶太常任理事による祝辞の中で披露された、福澤諭吉先生と松永安左ヱ門氏との人情味あふれる交流のエピソードに会場も打ち解け、大きな一体感に包まれました。卒業後40年記念証は招待者代表の永原圭司君（35期）にお渡しし、壇上にて固い握手をしました。慶應志木会賞は5団体９名と個人２名合わせて11名の生徒たちが表彰されました。

　4月6日入学式は、78期254名が志木高生の仲間に加わりました。伊藤公平塾長の厳粛でありながらも親しみのこもった祝辞に、緊張していた新入生たちにも思わず笑顔がこぼれ、桜舞い散る中でとても印象的な記念撮影が行われました。彼らが初心を忘れることなく充実した高校生活を過ごすことができるよう、教職員一同決意を新たにいたしました。

　入学式に先だつ3月25日、75年記念事業に対して多大な支援をいただいた方々をお招きし、三田キャンパスにて「慶應志木　感謝の会」が開催されました。当日は伊藤公平塾長によるお礼の挨拶に始まり、岡田英史常任理事による光彩館完成報告、山内慶太常任理事と私から今後の慶應義塾と志木高等学校の展望についてのプレゼンテーション、慶應志木を特徴づける専門的な授業やプログラムの紹介が担当の宮橋裕司教諭（自然観察会）・樋口聡教諭（気象学）・森岡崇主事（法学）・岡田吉央教諭（交際交流）からそれぞれ行われました。※（　）内は授業やプログラムの名称です。
あとの交流懇親会では、菅沼安嬉子前連合三田会長からスピーチと乾杯のご発声、森田榮一募金委員会事務局長・小坂孝樹会長・坂上隆彦前会長からそれぞれ慶應志木への更なる支援の呼びかけがなされました。



　慶應志木のこれからが、慶應志木のこれまでを決定します。
先行きの不安や不透明さが増すばかりの現代、私達が最も重点を置くべき活動とは何か。それは、互いに知恵を交換し合い心を通わせる、真の『交流』にあるのではないでしょうか。慶應志木は『交流』＝半学半教と不撓不屈の訓えを胸に刻んで将来を実現していきたい、この美しいキャンパスを継承していきたい、と考えています。

　慶應志木の将来は、志木会の皆様とともにあります。
会員各位のご健勝と志木会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

新主事ご挨拶

慶應義塾志木高等学校主事
樋口 聡

今年度から主事となりました樋口聡と申します。
昨年度まで主事を務められた森岡教諭から業務を引き継ぎながら進めておりますが、何かと不慣れな点が多く、ご心配をおかけしております。

４月から３ヶ月ほどが経ちました。主事という立場で「学校を運営する」という業務に取り組みはじめ日々感じているのは、いかに視野を広く持ち、先を見通せるかということです。これまでは大学の先生が校長でしたから、どうしても志木高と離れたところと連絡を取り合うことが多く、現場にいる主事が一人で対応せざるを得ないことも多かったと想像します。しかし、いま私の隣には河野校長がいます。主事が一人で対応すれば、ときには視野が足りず、あるいは判断が遅れることがあるかもしれませんが、いまは校長とその場で相談し判断することができます。また、内容によって校長、主事、事務長、担当の総務委員（生活総務、教務総務、各学年総務）、保健室（保健士、スクールカウンセラー）と事実を共有し、対応を検討しています。運営をするに当たり、決して一人で進めることがないような体制をつくり、私自身も一人で判断しないよう心がけています。さらに、対応や判断には漏れがないかどうか確認し合い進めています。ときには声に出して複数でチェックし合うこともあり、校長室はまるで飛行機の操縦室さながらの様子になることもしばしばあります。

日々起こることに翻弄され、毎日があっという間に過ぎています。そして次々と手帳には新たな予定が加えられていきます。いま３ヶ月ほどが過ぎ、４月１日がはるか昔のことにように思えます。

志木高教職員の動向

教員

退職▶専任　善林　啓(数学科)　※女子高へ異動(人事交流)
非常勤講師　12名
新任▶専任　大曽根　悠(社会科)　※非常勤講師から専任へ
専任(有期)　石川　直樹(国語科)　※非常勤講師から専任(有期)へ
非常勤講師　4名

職員

退職▶事務員　2名(異動)、派遣職員　1名
新任▶事務員　2名(異動)、嘱託職員　1名

【志木高・志木会行事日程】

	慶應志木会				志木高等学校	
	R7年度予定		R6年度実績		R7年度予定	
4月					4/6	入学式（10：00）
					4/7	ガイダンス
					4/16	健康診断
5月	5/24	校内自然観察会[*1]	5/25	校内自然観察会[*1]	5/13～5/15	1年生研修旅行
	5/25	枇杷の会[*2]	5/26	枇杷の会[*2]	5/31	慶早戦
		（大磯海岸鴫立庵周辺）		（鎌倉宮、永福寺）		
	5/29	幹事総会				
6月	6/7	5高ＪＫカップ	6/1	5高ＪＫカップ	6/23～6/27	第1回定期試験
	会報発行		6/3	幹事総会		
			会報発行			
7月					6/30～7/2	クラスマッチ
					7/16	第138回志木演説会
					7/19～	夏季休業
8月						
9月	9/20	校内自然観察会[*1]	9/1	光彩館銘板披露会	～9/6	夏季休業
			9/12	第11回志木マスターズ	1年生救命講習	
				：程ヶ谷カントリークラブ	9/30～10/3	2年生研修旅行
			9/21	校内自然観察会[*1]	9/30～10/3	3年生見学旅行
			9/29	枇杷の会[*2]		
				（慶應志木高校・光彩館）		
10月	10/19	連合三田会大会	10/20	連合三田会大会	10/9	運動会
	10/25	ホームカミングデー	10/26	ホームカミングデー	10/25～10/26	収穫祭
		収穫祭：志木高		収穫祭：志木高		
		（25期＆50期）		（24期＆49期）		
	10/28	第12回志木マスターズ				
		：龍ヶ崎カントリー倶楽部				
11月	11/8	志木歩こう会	11/9	志木歩こう会	11/2	学校説明会
		（井の頭公園・玉川上水）		（谷根千散策）	11/17～11/21	第2回定期試験
	11/30	枇杷の会[*2]	11/15	五高同窓会	11/25～11/27	クラスマッチ
		（有栖川公園~慶應三田キャンパス）				
12月					12/19	第139回志木演説会
					12/20～	冬季休業
1月					～1/7	冬季休業
					1/13～1/16	3年生第3回定期試験
					自己推薦入試	
2月	幹事新年会		2/26	幹事新年会	一般・帰国生入試	
					2/17～2/20	1,2年生第3回定期試験
3月	3/24	卒業式	3/23	卒業式	3/24	卒業式（10：00）
		卒業40周年招待（36期）		卒業40周年招待（34期＆35期）		

*1：志木高校内自然観察会は井澤教諭、宮橋教諭（理科）を中心に開催されます（卒業生参加可）
*2：枇杷の会は本井英元教諭（国語）のご指導のもとに開催されます

★行事予定は、変更または中止になる可能性がございます。
都度、ウェブサイト等でご確認下さい。

慶應義塾志木高等学校への

私学の高校は授業料と補助金で運営されておりますが、それだけでは到底足りない支出に寄付金を充てることにより、教育および高校生活の付加価値を大いに高めることが出来ます。慶應志木高では、以下にご案内する **「4 つの寄付金受入口」** がありますが、いままで積極的にご案内することがありませんでした。長年の PTA 募金や志木会を中心とした開設 75 年事業募金では皆様からの熱い支援を賜っておりましたが、これからは、特別な時にだけお願いするのではなく常時ご寄付を賜れるようにご案内をさせていただきたいと考えました。

つまり枯渇することなく常に有意義に活用できる資金の確保をさせていただきたいのです。

そのために志木高ホームページの「ご支援 (ご寄付) をお考えの皆様」を改訂しました。

志木高校HP
ご支援(ご寄付)を
お考えの皆様→

一時的に集中した募金活動によりご寄付いただくものではなく、このご案内により尊いお志をお持ちの方々から時を選ぶことなく恒常的にご寄付いただけるようになればたいへんありがたい限りです。

慶應義塾志木高等学校　校長　河野文彦

1. 志木高等学校教育充実資金

多様性・専門性を踏まえた、慶應志木ならではの特徴的で創造性にあふれる教育プログラムの開発・実施など、まさに教育の充実に資するものに使用されます。趣意を特定されない場合は、こちらにご寄付・ご支援をお願いいたします。慶應志木の将来を大きく開くための資金となります。クレジットカード決済ページからお申込みいただけます。

※振込用紙でのお手続きをご希望の場合は、志木高事務室にご請求ください。

インターネット
寄付申込画面へ→

ご支援（ご寄付）のお願い

2. 慶應義塾志木高等学校教育研究基金

基金の利回り分を上限とし、特別授業への取り組み (メンタルヘルス、詩舞・落語) や、ワグネル・器楽部のコンサート支援、各部活動の関東大会・全国大会への遠征費用補助などに使われています。

3. 志木高等学校国際交流資金

国際交流事業は慶應志木の一大特徴であり、末永く継続していきたいと考えています。自国または留学先、それぞれのホームスティ先や学校で発生する国際交流の諸費用、特に留学生受入の際の日本国内での交通費や研修・観光経費などを主眼としています。慶應志木とその交流関係の中から、日本と世界の将来を託すことができる真のグローバル人材の育成・輩出を行っていくために使用されます。

4. 慶應志木会奨学基金

基金の利回りを上限として、奨学金として給付されています。数ある奨学金制度の中で、慶應志木の授業料に直接充当できる給付型の奨学金で、入学後にご家庭の経済状況が急変した場合に申請と審査により給付が行われます。

寄付金控除について

慶應義塾および慶應志木に対するご寄付は、税制上の優遇措置（寄附金控除）を受けることができます。なお、入学した年内の寄付金は、「学校の入学に係る寄附金」(注1) とみなされ、寄附金控除の対象から除外される場合があります。また、公職選挙法の法令により寄附が禁止されている方は募集の対象になりません。

（注1）入学願書受付の開始日から入学が予定される年の年末までの期間内に納入したもの。
その他、受配者指定寄付、法人としてのご寄付、相続財産からのご寄付の場合など手続きや申請方法が異なる場合があります。詳細は慶應義塾基金室ホームページ（https://kikin.keio.ac.jp/）をご覧ください。

お問い合わせ・資料請求先

慶應義塾志木高等学校　事務室
住所 〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1
TEL 048-471-1361 平日10:00～15:00 E-mail shiki-soumu@adst.keio.ac.jp

志木会会費制度の変更について

ご周知の通り、平成 30 年度より、会費制度を変更いたしました。

従来、「5 年で 1 万円」（年 2,000 円換算）としてまいりました。しかしながら、会費納入率（平成 29 年度実績）は、全卒業生約 15,000 人の約 18% と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらには OB の繋がりを充実させるため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更しております。

【新制度について】68 期より ❶ 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として 30,000 円／人を納付いただく。 ❷ OB の従来の会費制度を基本、廃止する。	●但し、合計 3 万円を未納の 58 期～ 67 期までの OB は、3 万円迄の残額を徴収する。

皆様のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

会報郵送について
次年度より希望者に限り郵送いたします

平素より慶應志木会の活動にご理解とご協力をいただき有難うございます。昨今の物価高騰にて郵送コストが大幅に上がっております。本年度は今まで通り郵送させていただきますが、令和 8 年度（2026 年度）より希望者のみに郵送とさせていただき、それ以外の方は慶應志木会ホームページより閲覧いただくかダウンロードをお願いいたします。**郵送希望の方は同封の別紙にて慶應志木会事務局にご連絡をお願いいたします。**

なお、現在もホームページから閲覧・ダウンロードは可能になっております。

ホームページ会報ダウンロードサイト：https://www.keio-shikikai.com/bulletin/

慶應志木会 協力金 のお願い

平成 30 年度より財政の安定化を目的として会費制度を変更し、卒業時に卒業生全員より「終身会費」として 30,000 円を頂戴することといたしましたが、昨今の物価高騰により慶應志木会も大変厳しい運営を迫られております。この傾向はしばらく続くことが考えられ、慶應志木会の潤滑な運営の為にも新たに協力金を会員の皆様にお願い申し上げる次第です。なお、協力金は 1 万円以上とし、協力頂いた方のお名前は志木会報、HP に掲載させていただく予定です。

振込先	ゆうちょ銀行
口座名義	慶應志木会　（ケイオウシキカイ）
口座番号	00170-6-537748

【他行から振込の場合】

〇一九（ゼロイチキュウ）支店　　当座　0537748

＊恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

お振込みの際、ご依頼人欄は必ず【氏名　卒業期（又は卒業年）　クラス（不明の場合省略）】を入力してください。お振込みいただきましたら、慶應志木会事務局までご一報ください。領収書を送付させていただきます。なお、税制上の優遇措置 (寄附金控除) の対象にはなりませんのでご承知おきください

慶應志木会事務局：　Tel 048-471-1959　Fax 048-471-1974　Mail info@keio-shikikai.jp

『慶應志木会賞』について

慶應志木会

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成１９年３月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の３部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、１９回目を迎えました。

令和６年度は、５団体の生徒と個人２名を表彰いたしました。

1. 水泳部（１名）
推薦者：水泳部部長　樋口　裕輔 教諭（9 年連続受賞）
第 75 回　関東高等学校選手権水泳競技大会　200 m背泳ぎ　出場

2. 鉄道研究会（１名）
推薦者：鉄道研究会部長　長谷川　泰史 教諭
第16回全国高等学校鉄道模型コンテスト　モジュール部門　優秀賞(全国2位)

3. 空手部（１名）
推薦者：空手部部長　田中　健 教諭
令和５年度　第 52 回関東高等学校空手道大会　団体形　出場

4. 端艇部（４名）
推薦者：端艇部部長　池田　卓也 教諭（13 年連続受賞）
端艇部副部長　古川　創一 教諭
令和６年３月開催「第 35 回全国高等学校選抜ローイング大会」に男子舵手付きクォドルプルの種目（2,000m）で埼玉県代表として５年ぶりに出場、10 位入賞

5. スキー部（２名）
推薦者：スキー部部長　岡田　吉央 教諭
インターハイ予選、国体予選で素晴らしい成績を収め、関東大会・インターハイ・国体へ出場

6. 近藤　源樹君
推薦者：池田　卓也 教諭
生徒会本部　事務統括担当
本校開設『五十周年記念誌』（生徒会）の成果を受け継ぎ、開設『75年記念誌』（生徒会）の作成に尽力した。

7. 川西　穣君
推薦者：池田　卓也 教諭
生徒会本部　記念誌編纂特設小委員会委員長
本校開設『五十周年記念誌』（生徒会）の成果を受け継ぎ、開設『75年記念誌』（生徒会）の作成に尽力した。

以上

體育部會NOW ／第25回

弓術部　監督　小宮 雄造

2020年から弓術部の監督をしております、志木高30期の小宮です。

弓術部は2025年5月時点で3年生8名・2年生16名・1年生9名が在籍しており、部長・原教諭、副部長・中根教諭の下、社会人7名と大学生（体育会弓術部員）4名が指導を行っています。

弓術部では「全部員が真面目に弓道を行う部活動」を目標にしています。この目標は、一昨年9月に就任した前幹事が、コロナ禍の影響により緩んでいた部内の雰囲気を改革するため、当時1年生だった現幹事の代と共に設定し実践してきました。これにより引き締まった練習が行われるようになり、射技や的中レベルが高まり、低迷していた試合結果が改善されてきました。

他校との対抗戦では、近年遠ざかっていた20射戦（1人20射、5人または6人／チーム）での的中率5割超えを昨年5月から9戦連続で継続しています（早大学院戦／2試合・早実戦／2試合・全早慶高校対抗戦・各種塾内戦5試合）。公式戦では、今年2月の西部地区大会で団体優勝と個人入賞3名、4月の関東大会県予選で団体6位入賞と個人優勝（関東大会出場）という成果を上げています。残念ながら、団体での上位大会進出は2010年の関東大会以後遠ざかっていますが、今の部の実力ならば必ず実現できると信じています。

しかし指導者としては、上記の改革以降、監督・コーチへの指導を積極的に求める部員が大幅に増え、部員全員が「弓が上手くなりたい／高い的中を出して強い部にしたい」という意志を自ら持ち、真剣に部活動／弓道へ取り組んでいることが何よりもうれしいです。今後も「全部員が真面目に弓道を行う強い志木高弓術部」が続くことを目指します。

文化部会NOW／第25回

英語部　部長　伊藤 英治

英語部はESSパートと軽音パートの2つの部門で構成されているクラブです。現在（2025年4月）のところ、部員数はESSパートが0名、軽音パートが新たに新1年生9名を加えて計44名で活動しています。

ESSパートは、2018年度以降は部員が在籍しておらず、活動休止の状態が続いています。2017年度以前は英会話の練習が中心のクラブとして活動していました。学校内の活動では、スピーチの練習，また洋楽の曲を聞いたり、映画を字幕なしで鑑賞したりして、活動していました。学校外では、主にUNION（全国高等学校英語会連盟）という団体内で活動をしてきました。UNIONでの活動については、おもにディベート大会、スピーチコンテスト、ドラマフェスティバルの3つがありました（本校はこれまで部員不足のため参加することができないときもあったが、「TEAM KEIO」として塾高・女子高・SFC高とともに4校合同で出場したこともあった）。これら3つのイベントはUNION内での公式大会なので、大会直前は部員らはこれに向けて頑張っていました。

軽音パートは、本校には軽音楽部がないので、英語の曲を演奏するからという胡散臭い理由付けで、英語部の軽音パートとしてバンドの演奏活動を始め現在に至っています。普段の活動は基本的にバンドごとの去来舎の音楽練習室での演奏練習で、収穫祭でのライブや卒業ライブに向けて活動しています。新入部員の半分以上は楽器初心者ですが、数カ月のうちに演奏技術を得ることができています。また、過去には某楽器会社主催の全校高校軽音楽部大会に出場したこともありました。

今後の活動については、ESSパートにおいては新入部員を確保し、活動休止の状態から抜け出ることがまずは必要です。以前に交流のあったいくつかのUNIONの加盟校に協力を求めることもよいかもしれません。軽音パートについては個々の演奏技術をさらに高めていくことはもちろんのことですが、収穫祭でのライブや卒業ライブ以外の場でもバンド演奏を披露する機会を増やしていく、特に外部団体が主催するコンテストなどに積極的に参加していくことも検討していきたいと考えています。

クラブ戦績

クラブ	戦績
體育部會	
硬式野球部	2024年度選手権埼玉大会1回戦8-0(7回コールド)対深谷商業、2回戦13-1(5回コールド)対鶴ヶ島清風、3回戦6-5対朝霞西、4回戦3-9対上尾／南部地区新人大会1回戦10-0(7回コールド)対大宮光陵、2回戦9-8(10回タイブレーク)対県立浦和、3回戦0-7(8回コールド)対武南／秋季南部地区予選1回戦7-8(10回タイブレーク)対川口工業／ 2025年度春季南部地区予選1回戦8-9対川口青陵
競走部	県高校新人陸上競技大会西部地区予選会800m平野2'05"19、1500m生沼4'33"82　山下4'42"25、5000m島田17'44"46　平井17'46"13／国体少年の部西部地区予選会 800m平野2'06"44 平井2'07"12、1500m平野4'21"65 平井4'17"83、決勝平井4'22"18、5000m金指18'31"42 吉田18'51"36、3000m生沼10'09"01 山下10'08"94／第86回奥多摩渓谷駅伝競走大会Aチーム 2'38"22(4位)、Bチーム2'45"07(7位)
卓球部	西部地区卓球大会シングルス出場、ダブルス出場、団体戦ベスト16／岡部杯争奪卓球大会　三澤シングルスベスト64／全日本卓球選手権大会埼玉県予選会　三澤ベスト128／西部地区卓球大会シングルス出場、団体戦出場／埼玉県ジュニア卓球選手権大会シングルス・ダブルス出場
庭球部	学校総合体育大会西部地区予選会個人シングル菅10位　庄司20位　林31位　ダブルス菅・庄司9位／関東高校テニス大会埼玉県予選個人シングルス一回戦菅・庄司・林　ダブルス一回戦菅・庄司、団体ベスト32一回戦対ふじみ野2-1　二回戦対早稲田本庄1-2／テニス新人戦埼玉県大会　個人シングルス一回戦福留、二回戦柊山、ダブルス一回戦柊山・植村、長根・泉、団体ベスト16一回線対城北埼玉4-1　二回戦対県立大宮3-2　三回戦対川越東0-4
ラグビー部	関東高校ラグビー大会埼玉県予選1回戦対本庄第一29-14、予選2回戦対川口49-10、予選準々決勝対川越東12-20、予選順位戦対深谷29-22、予選5位決定戦対熊谷24-19／関東高校ラグビー大会　対勝田工業58-0、決勝対東京朝鮮36-17／全国大会予選2回戦対春日部90-3、予選3回戦対城西川越54-0、予選準々決勝対浦和21-17、予選準決勝対昌平0-66
端艇部	第93回早慶レガッタ　舵手付きクォドルプルA優勝、B準優勝／令和6年度関東大会埼玉県予選　男子シングルスカルA決勝4位、B準決勝5位、C予選6位、男子ダブルスカル決勝5位、男子舵手付きクォドルプルA決勝4位、B決勝5位、C予選4位／令和6年度関東高等学校ボート大会男子シングルスカル準決勝3位、男子ダブルススカル準決勝4位、男子舵手付きクォドルプル決勝3位／令和6年度インターハイ埼玉県予選男子シングルスカルA決勝4位、B準決勝5位、C予選4位、男子ダブルスカル決勝4位、男子舵手付きクォドルプルA決勝3位、B決勝6位、C予選5位
バレーボール部	学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会埼玉県予選会　対本庄第一0-2／六校戦　対慶應湘南藤沢1-2　対明大中野1-2　対日大2-0　対立教新座0-2／埼玉県私立高等学校バレーボール大会　対本庄東0-2　対東野0-2　対秀明栄光2-1　対武蔵越生0-2　対城西川越2-1／第2回弘武堂杯　対朝霞1-1　新座柳瀬0-2　和光国際2-0　立教新座0-2／第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会西部地区予選会　対川越西2-0　対所沢西0-2　対ふじみ野0-2／県民総合スポーツ大会兼高等学校バレーボール新人大会西部支部予選会　対狭山経済2-0　対所沢北2-0　対所沢1-2　対武蔵越生2-0／第37回埼玉県民総合スポーツ大会兼埼玉県高等学校男女バレーボール新人大会　対松山1-2
ホッケー部	2025.1.13東京都ホッケー協会主催少年男子女子大会「慶應義塾志木高校・学習院高等科合同チーム」として出場　対学芸大附属1-0、対学習院(第1チーム)0-0、対品川翔英0-2、対鹿沼東0-0
サッカー部	西部支部総体予選2回戦　対所沢北0-1／選手権1次予選2回戦対草加南1-0、代表決定戦対越谷西1-4

クラブ	戦績
バスケットボール部	全国高等学校選手権大会埼玉県予選会1回戦対上尾鷹の台高校75-60、2回戦対昌平高校73-116県ベスト16／春季高校選手権大会2回戦対県立星野高校109-33、3回戦対狭山工業高校102-55、4回戦対豊岡高校68-77西部地区ベスト8／県民総合スポーツ大会1回戦対上尾鷹の台高校87-63、2回戦対昌平高校54-96
弓術部	関東大会県予選団体19/40二次予選敗退／全国高校総体団体22/40二次予選敗退／早慶弓道交流試合61/120第4位／全国選抜県予選Aチーム12/24二次予選敗退、個人：相川4/8二次予選敗退　松田7/11 6位入賞／新人戦Aチーム23/39ベスト16／西部地区大会(男子)団体Aチーム19/24優勝、個人小林3位入賞、松田5位入賞、吉村6位入賞／全国私立高等学校弓道大会Aチーム決勝トーナメント1回戦敗退
ゴルフ部	関東高等学校ゴルフ部選手権夏季大会埼玉地区予選団体の部5位／冬季大会埼玉地区予選　吉武39位、青木49位、丸山50位、菊池51位、村越52位、冨増54位、江尻55位、山本56位、大中62位
剣道部	西部支部大会団体1回戦対武蔵生越3(7)-1(3) 2回戦対坂戸西0(0)-2(2) 個人:中山2回戦敗退、北尾1回戦敗退、伊澤ベスト32、宮田1回戦敗退／関東予選県団体1回戦対鶴ヶ島清風3(6)-0(0) 2回戦城西川越3(5)-1(2) 松山0(0)-5(9)／全国高校総合体育大会個人 中山1回戦敗退、北尾3回戦敗退 団体:1回戦対不動岡0(1)-2(5)／玉竜旗大会 5人制抜き勝負対都城東0(0)-1(1)延長6回大将戦負／五大学付属高校剣道大会ベスト5予選リーグ対法政大高4(8)-0(0)、対明大明治1(1)-0(0)、対早大学院2(4)-3(6)、対慶應義塾0(0)-5(9)、対早大本庄3(6)-1(2)／第14回早慶対抗剣道大会 対早大本庄(新人戦)5(9)-0(1)、対早大本庄(抜き勝負)勝／西部支部新人戦 1回戦対坂戸西0(2)-2(5)／埼玉県高校剣道大会 伊澤1回戦敗退、深川1回戦敗退／関東私立高校選抜剣道大会1回戦対京華2(3)-1(3) 2回戦対加藤学園0(2)-5(9)／柴田旗大野杯争奪剣道大会 1回戦対拓殖大学第一1(1)-2(3)
スキー部	インターハイ予選GS:北山7位　髙橋12位　大鳥23位　羽生田30位、SL:北山5位　髙橋12位　羽生田DNF　大鳥29位／国体予選：北山5位　羽生田10位　大鳥18位／関東大会GS：髙橋51位　北山DNF、SL：髙橋DNF　北山DNF　大鳥68位／インターハイGS:北山127位　SL：DNF／国体：北山DNF
ソフトテニス部	R6年度県北高等学校ソフトテニス選手権大会　長谷川・鈴木(大)ペア3回戦進出／ R6年度埼玉県高等学校ソフトテニス関東大会西部地区予選会　長谷川・鈴木(大)ペア3回戦進出／第52回東京六大学附属系属高等学校ソフトテニス大会　本多・渡邉ペア ベスト8、長谷川・鈴木(大)ペア ベスト16、森本・鈴木(瑛)ペア ベスト32／ R6年度西部支部高等学校ソフトテニス大会男子Ⅱ部　鈴木(瑛)・瀬尾ペア 3回戦進出
水泳部	埼玉県学校総合体育大会200m背泳ぎ田中7位／埼玉県高等学校水泳競技新人大会100m平泳ぎ南6位、200m個人メドレー南6位、50m自由形廣瀬8位、400mメドレーリレー藤本・南・中田・廣瀬8位、200mリレー廣瀬・濵田・中島・南6位
軟式野球部	春季関東高等学校大会予選2回戦　対伊奈学園2-5／全国高等学校埼玉大会2回戦　対浦和実業3-10／秋季関東高等学校大会予選1回戦対伊奈学園4-7
空手部	関東高等学校空手道大会埼玉県予選会個人形2回戦進出、団体組手初戦敗退／全国高等学校総合体育大会空手道競技埼玉県予選会個人形2回戦進出　団体組手2回戦進出／埼玉県高等学校空手道新人大会個人形2回戦進出　団体組手2回戦進出
文化部会	
器楽部	第65回吹奏楽コンクール県大会　金賞受賞
鉄道研究会	全国高等学校鉄道模型コンテスト2024　モジュール部門：優秀賞・ベストライター賞、HO車輌部門：奨励賞

志木会の俳句会「枇杷の会」で非日常体験と交友の輪を広げませんか！

昨今は気象変動が年々増して季節感が薄れてきています。一方海外からも多くの観光客が訪れ、日本の四季や原風景に興味をもつ人が増えています。

俳句の良さは、季語を中心として感動した景色や心象を17文字に詠んで、作品として残せること、そして、仲間と一緒にその感動を分かち合えることだと思います。

枇杷の会では普段はなかなか行く機会のない場所で年2回吟行しており、同窓の輪が年々広がって参加者が増えてきています。

平成14年6月から長年ご指導をいただいている本井英元教諭は高濱虚子研究の第一人者で、大磯の鴫立庵の庵主もされていらっしゃいます。風薫る五月、その鴫立庵で吟行を行いました。

句会の後は軽く一杯を楽しみながら友人の消息や昔話などを語り合い、世代を超えた仲間作りが出来ます。志木高に入って本当に良かったと思える機会です。俳句の経験がない方々もこれを機にぜひ句会に参加してみませんか。

今年度は次のように予定しています。志木会会員各位やご家族のご参加をお待ちしています。

- **令和7年　5月25日（日）　初夏の潮騒を楽しむ大磯　鴫立庵**
- **令和7年11月30日（日）　晩秋の広尾　有栖川宮記念公園　～　三田　慶應義塾大学**

詳細はメールマガジンで案内いたします。参加のお申し込みは志木会事務局まで。

第58回枇杷の会　慶應義塾志木高等学校での句会報告

昨年、志木高の75年記念事業の新校舎・光彩館をお借りして句会を行いました。前北教諭に光彩館をはじめ茶室も兼ねた和室や多目的ホールや農場等を案内していただき、志木高の今昔を皆で語り合いながら改めて豊かな自然と広さを実感いたしました。

本井元教諭からは、仲間の句の感性や表現に共感し、その場面を再現できるようになれば、上達するとのご指導をいただきました。

（参加者の自選句、順不同）

- 落し水遅れてをりぬ学習田　英
- 「農芸」の服着て獲りし落花生　夏樹
- 秋入梅学びの城も年老いて　祥三
- 体育館の光る校章秋澄めり　文比古
- 秋の蚊が出迎へくれし母校かな　次郎
- 秋の香が実りし匂う稲穂かな　博明
- 校門に花芽付けたる枇杷大樹　啓舟
- 青き実の柿の如くの日々ありて　正博
- メドハギに習ひて我も背筋ピン　栄一
- 野分立つ若き血奮ふ光彩館　章良
- 咲き零れ咲き零れつつ萩の花　孝治
- ツユクサに野火止の道誘われ　誠
- 野に賢者放つ学舎薄紅葉　恭輔
- 鳥語降る母校の秋を歩きけり　洋太
- 名札なき弓道場に秋の風　伸次
- 小さきもの数多棲ひて水澄める　昌平
- ぴくりともしない一叢萩曇　かおる
- 新築の校舎彩る百日紅　善兵衛

湯浅 善衛（31期）

同期会&OB会だより

第15期 ー昭和40年卒ー

第44回亦楽会のご報告

昨年11月12日、第44回を迎えた15期の集い亦楽会が三田のファカルティクラブで倉田君の司会・進行で開催されました。昨年から應援指導部からの派遣がなくなりましたが、大平君の塾歌斉唱の見事なテクで始まり、〆の若き血は高校・大学の應援指導部で楽曲を担当した深瀬君のこれ又見事なテクとエールで締めることができました。前回は森田君に著書の秘話をお願いしましたが、今回は三野君の発案でNHKクローズアップ現代などに登場している時間学の権威、千葉大の一川先生をお招きし高齢者が残された時間を如何に使うかをテーマとした講演をお願いしました。講演では歳をとると時間が早く進むよう感じるのはなぜ? から始まり、長い、短いではなく個々人が時間をうまく活用し、満足感を得ることが大切との示唆をいただきました。今回は40名参加予定が体調不良と当日欠席などもあり33名での集いとなりましたが、参加者一同大いに充実した時間を過ごすことができたかと思います。 さて第45回亦楽会は2025年11月4日（火）に三田キャンパス「ファカルティクラブ」にて志木高卒で慶應義塾大学医学部 外科学(呼吸器)朝倉啓介教授をお招きして「後期高齢者医療の現状と近未来医療への取り組み」をテーマにご講演を予定しております。今年も案内状はメールで差し上げますので15期の

方で、まだメールアドレスを志木会事務局に登録されていない方は本志木会報に同封されている「登録情報変更の届け出」用紙を使いメールアドレスの登録をお願いします。

文責:15期代表幹事　高野　信一

第20期 ―昭和45年卒―

同期会報告

昨年11月26~27日に静岡県焼津で30名の方が参して5年ぶりの宿泊同期会を行いました。初日昼間は、ゴルフ組と同期の安田君がそばを打つ安田屋本店での昼間から宴会組とに別れ、ひと時を過ごした後夕方には宿へ集合しました。宿での宴会では、心はすっかり高校時代に戻り、楽しいひと時を過ごし應援指導部リーダーであった山崎君の若き血で締めました。

2日目には前日の曇り空から変わり快晴に恵まれきれいな富士山を見ることが出来ました。元気でまた再開することを約束して解散した後、前日に安田屋へ行けなかったメンバーが安田屋を訪れ安田君が打った蕎麦に舌鼓を打ちました。

3年後ぐらいにまた宿泊の同期会を計画しようと思っております。

次回幹事は、佐原光さん、佐原藤雄さんのW佐原さんです。

3/25には恵比寿ガーデンタワーで毎年行っている同期会が行われ前回の宿泊同期会からあまり日は立っていませんでしたが29名が参加し39階からの夜景を見ながらの会となりました。

卒業して55年で、容姿はだいぶ変わりましたが会えばすっかり気持ちは昔のままで楽しい時間を過ごせ、いつものように山崎君のリードで若き血を斉唱して終わりました。

この歳になるとどこか体の不調を抱えておりますが養生して次回も参加出来ることを願ってお開きとしました。

20期　金子　博志

第22期 ―昭和47年卒―

同期会報告／【二八会】を開催いたしました

不順な天候が続き桜の開花宣言が待ち遠しかった3月22日、三田キャンパスは3月末とは思えない暑さに見舞われていました。

本年も昨年と同様に慶應義塾大学三田キャンパス内の『ファカルティクラブ』にて【二八会】を開催いたしました。参加者は当初73名の予定でしたが、体調を崩した等々の連絡もあり、最終的に67名の同期が出席、いつもながらの和気あいあいとした同期会となりました。

【二八会】の由来ですが、2023年に亡くなられた葛葉君が同期会を主催する際に考案された名称です。（同期のほとんどが昭和28年生まれだからとの由）残念なことにこの一年で5名の仲間が逝去され、物故者は35名となりました。

昨年同様、初参加の同期には前に出てもらい、卒業アルバムの当時の写真をプロジェクターで映し出し、その写真の横で一言話して貰いました。さらに当時の写真に映り込んでいる仲間にも前に出てもらい同じポーズをとってもらいました。何故か当時の思い出が彷彿とさせるのか、ほのぼのとした暖かな時間がながれておりました。卒業から53年経ち、当時の面影が全く見られない同期、少し面影が残った同期などさまざまでしたが、楽しい時を過ごすことができました。

同期の皆さんへのお願いですが、志木高時代のスナップ写真、クラスマッチ、修学旅行などでの写真がありましたら事務局へ貸していただければ幸いです。来年の【二八会】で、その懐かしい姿をプロジェクターでスクリーンに映し出して盛り上がりたいと思っております。是非ともご協力をお願いいたします。

今回も多数の同期が参加してくれた【二八会】となりました。海外から参加してくれた友、日本の各地から参加してくれた友が沢山いることに感謝いたしております。開催にご尽力いただいた幹事の方々に感謝するとともに、参加された同期及び今回お会いできなかった同期の健康と益々の精進を願っております。次回は、令和8年3月28日（土）に開催の予定です。開催が近づきましたらまたご案内させていただきます。奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

来年もお会いできるのを楽しみにしております。

22期　深澤　澄

第28期　―昭和53年卒―

同期会報告

2025年6月15日12時より、恒例の28期同期会が後楽園飯店にて開催されました。

昼食会形式開催で34名の仲間が集いました。冒頭、学年幹事伊能重雄氏より、慶應志木会の運営に関する報告が行われ、「慶應志木会協力金」は、44,000円が集まりました。早速、事務局へお渡ししたいと存じます。

初参加のE組横田純平氏、D組高林裕之氏のスピーチの後、高林氏の乾杯のご発声の後、最近の情報交換で盛り上がりました。歓談後半には名古屋から参加した柴本氏の実戦さながらの野球審判実技、堀部氏からの最近の過ごし方など大うけしました。あっという間の2時間の締めは、斎藤陽一氏のエール解説付きの若き血の大合唱でお開きとなりました。

今回出席頂いた方々、残念ながらお会いできなかった方々も、次開催にてお会いできることを楽しみにし

ております。

今回も開催の準備、取り纏めをされた学年幹事の伊能重雄氏（A組）に御礼申し上げます。

メールアドレス未登録並びに変更があった方は、今後のイベントのお知らせをお届けするために「info@keio-shikikai.jp(慶應志木会事務局)」宛、ご連絡をお願いします。同期の方の消息をご存じの方、皆様の近況等もお寄せください。

28期D組池田欽哉

第30期 ―昭和55年卒―

待望の10年ぶり大同期会、実現！

去る3月15日（土）、懐かしい三田「山食」に70名もの顔ぶれが集まりました。再会の喜びに満ちた笑顔と温かな交流が繰り広げられました。会えばあっという間に当時に戻ります。

今回は、我々の同期から志木会会長に選ばれた小坂君をサポートするという意義深い集まりでもありました。小坂君をはじめとした志木会の同期新幹事たちによるスピーチは、同期の絆をより一層強固にしてくれました。また、数人が現況を報告する時間もあり、同期として誇らしさを感じる貴重な場となりました。会の締めくくりは、應援指導部だった荻原君が現役時代さながらの指揮をとり、「若き血」を皆で力いっぱい歌い上げ、最後のエールで締めくくられ、まるで高校時代に戻ったような一体感に包まれました。

1次会終了後は多くの仲間が2次会(+時間延長!)、3次会へと移り、笑顔と尽きることのない昔話で、大いに盛り上がりました。

30期　実行委員長　加藤哲哉

剣道部OB会

剣道部OB会である慶應志木剣友会はOB同士、現役生との合同稽古等を通じ心身修練、繋がりの強化、部活動の充実度向上に努めています。今年の2/23にはOB、現役生、小澤教諭、ハーヴィー教諭と総勢25名が朝から志木高剣道場に集まり合同稽古を、その後は志木駅前の居酒屋に移動し、昼飲みでOB交流会を行いました。一部メンバーは夜9時まで交流を続けたとか。。。 現在運営は70代~50代の年代が中心となっており、メンバーは随時募集中です。若手の皆さんや交流会のみ参加の方、勿論大歓迎です。

ここ数年はFacebook（グループ名:慶應志木剣友会）、Instagram（アカウント名:keio_shiki_kendo_new）での情報発信、メンバー交流も行っています。まだご覧になっていない方は是非アクセスください。お待ちしております。

文責:43期　関段　正二郎

第11回志木マスターズ開催報告

第11回志木マスターズが9月12日程ヶ谷カントリークラブにて開催されました。総勢20組、76名が参加され、残暑（猛暑?）の中、皆様奮闘されました。

優勝はネット69.6のスコアを出された第10期の似田幹男さん、8月に熱中症気味になられたそうですが当日の猛暑にもかかわらず見事にその実力を発揮されました。おめでとうございます!ベスグロ賞は安定の上手さを発揮された第37期の田内久晴さんで、慣れないコースにもかかわらず81というスコアでフィニッシュ。

私は45期で今回参加した中では一番の若輩者でした。同期の本行隆行君と、最年長7期の大山隆義さん、そして優勝された似田幹男さんという組み合わせ。最高齢と最若年というグループでしたが、ラウンド中も志木高校（大山さんの時代は農業高校）という共通ワードをきっかけに話も大いに盛り上がり、人生の大先輩から様々な分野での経験談、そしてアドバイスを頂き学びの多いラウンドとなりました。ゴルフという老若男女問わずに一緒にプレーできるというこのスポーツの最高の魅力を改めて実感しました。

最後に、この志木マスターズの運営をされている永井先輩を代表とする幹事団の皆様、このような素晴らしいコンペを企画、開催してくださり誠にありがとうございました。このような素晴らしい企画により多くの志木高校卒業生が新たに参加されることを願います。

第45期　佐藤基典

ホームカミングデー報告

ホームカミングデー報告 ―24期―

かけがえのない仲間たち

令和6年10月26日、卒業50年を迎えた24期生がホームカミングデーに招待され、35名が懐かしい志木の地に参集した。出席された恩師ともお話することができ、収穫祭の展示なども見学したのち、池袋に場を移しての大宴会となった。開催に尽力された関係者の皆様方に改めて謝意を表させて頂きたい。

実際に会う機会はそれほど多くなくとも、会えばすぐにお互い青春時代に戻ってしまう。私にとってきわめて大切な、かけがえのない仲間達である。

志木を卒業し、それぞれの学部に進学し、さらに社会人としてさまざまな経験を積んで半世紀であるが、自分一人が体験できること、得られる知識はきわめて限られている。しかしそうした中で、自分にないものをもっており、自分にない体験をし、各方面で長年活躍してきた、心から信頼できる多くの仲間がいることがどれほど有り難いことであろうか。

志木で学んださまざまなことの中で、私にとって最も重要であると思われるのは、人物に対する評価の基準が一つではないという点である。いわゆる受験校であれば、出身大学・学部の入試における偏差値という一つの尺度で人を評価する傾向が多いかもしれない。しかし我々は志木の時代から、それぞれの価値観を尊重する気風が自然と身についていた。勉学に励むもの、スポーツや芸術文化活動あるいは麻雀に打ち込むものなど、さまざまであったが、それぞれの生き方を互いに認め合っていたように思われる。そしてそれが現在まで続いている。また当時の恩師たちにも、生意気盛りの生徒を大人扱いし、各自の個性を尊重して頂いた。

そうした貴重な青春時代を共有した、相互補完的な人間関係がどれほど人生を豊かにしてくれるか、古希を迎える時期となって、より一層実感される次第である。

24期　塩澤 修平

ホームカミングデー報告 ―49期―

令和6年10月26日、収穫祭開催日に合わせ49期卒業生がホームカミングデーにご招待いただき、計18名が参加しました。

行きの道中、かつての通学路を思い出しながら、もう25年もの歳月が経ってしまったことへ驚きと戸惑いを感じつつ、志木駅を降りサンモール桐をくぐり抜けて母校へ。

同期を代表して加生健太朗君がご挨拶。席上では澤田洋元教諭や三條彰久元教諭のお顔も拝見し、独立自尊（自由放任？）の校風でおおらかに育んでいただいた志木校時代だったと、改めて感謝を刻む思いでした。

解散後は収穫祭の雰囲気を堪能しながら、それぞれに構内やグラウンドを散策し、記憶と現実との違いをつぶさに確かめつつ思い出話に花を咲かせ、食堂の売店では名物サラスパを探し、九州ラーメンをすすり、懐かしの地を後に。一部のメンバーは自然と再集合して、焼き鳥屋でさらに旧交を温めるなど、絆を深める特別な時間を過ごしました。この日以来、私の夢にはすでに何度も志木校が登場しています。

こうしたホームカミングデーという素晴らしい機会を設けていただきましたこと、志木会の皆様はじめ、志木校ご関係の皆様にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

今回参加したくても叶わなかった、あるいは連絡が行き届かなかった方々も多くいらしたと思います。母校の発展を祈りつつ、志木校OBのつながりを今後も大切に、再び集う機会を楽しみにしたいと思います。この度は誠にありがとうございました。

49期　　廣江 安彦

25期＆50期
ホームカミングデーのお知らせ

日時　令和7年10月25日（土）

場所　慶應志木高校　**会費**　無料

＊開催時間、開催方法の詳細が決まりましたら、メールマガジン・ホームページなどでご案内させて頂きます。

収穫祭お知らせ

生徒会収穫祭実行委員会　委員長　**内田 聖人君**

皆さんこんにちは。第78回収穫祭実行委員長の内田聖人です。

志木高創立以来毎年続いてきた収穫祭も今年で第78回となりました。本年度の収穫祭のテーマは「Spectrum」です。このテーマには、生徒各々が持つ個性や感性をそれぞれの異なる色として自由に輝かせること、志木高生の自由な発想と創造が連なり、変化しながら歴史が紡がれてきた収穫祭そのものが連続体としての「Spectrum」であることなどの意味が込められています。このテーマを元に、我々収穫祭実行委員一同全力を尽くして参ります。

つきましては、志木会の皆さまにおかれましても、ぜひご来場いただき、先輩たちから紡がれてきた素晴らしい収穫祭を受け継ぐ、後輩たちの豊かな発想や創造力に触れていただければ幸いです。

2025年 志木歩こう会　“武蔵野の自然と前世紀浪漫を訪ねて”

「志木歩こう会」を以下のとおり実施いたします。皆様のご参加をお待ちしております。
ご家族・ご友人の参加も大歓迎です。

開催日時：令和7年11月8日（土）午前10時～午後3時頃
（JR三鷹駅付近で解散予定）

集合場所：京王井の頭線　三鷹台駅　南口駅前広場
午前10時00分　集合

費　　用：昼食など約4,000円

参加申込：10月23日（木）までに志木会事務局宛へ連絡
メール　info@keio-shikikai.jp
TEL　048-471-1959

案 内 人：35期　越知 靖博／23期　嶋田 廣雅（幹事）

玉川上水や井の頭公園に色濃く残る武蔵野台地の自然に親しみ、20世紀に活躍した作家や詩人、彫刻家の遺構など辿りながらのんびりと散策します。勾配も少なく、歩きやすい行程となりますので、お散歩気分で気軽にご参加頂けます。

卒業40周年ご招待

34期　山下 孝

3月23日、志木高卒業式には日曜日ということもあり、1年遅れの40周年であったものの50名近い同期が集まりました。食堂内で行われた二次会も大盛況でした。

毎秋「三志郎会（※)」と称して同窓会を続けていますが、久しぶりの仲間も多く、懐かしく、そして楽しいひと時を青春時代に過ごした志木高で会えたことはより深い喜びになったのではと思います。

良き生涯の友たちと素敵な再会が出来たこと、志木高関係者のみなさまへの感謝しかありません。

ただ、久しぶりに会う仲間の名前が思い出せない惨事が随所で勃発しており、認知機能が低下したのか？あるいは今年還暦を迎える各人の若き日の面影がまったく無い＜白い・薄い・太い・(笑い）＞のか？思わず考えてしまった失礼な自分に反省しております。たぶん両方だと思いますが...

（※)「三十四期」「志木高」「男子の集まりである野郎たちの集合体」から三志郎会と命名

さて、我々は卒業40周年ということで卒業式に招待されたのですが、個人的には卒業式の思い出がほとんどありません。44年前の1981年4月桜満開の入学式の記憶は鮮明にあります。

大学時代には3年間体育会硬式野球部監督として毎日のように志木高に通い、社会人となっても年数回は志木高には顔を出していましたので、通算で1500日以上は志木に居たはず。数々の思い出が詰まっている志木高なのです。今回の卒業式で久しぶりに体育館に入りました。体育館での思い出は、収穫祭の後夜祭です。では卒業式の思い出はなぜ薄いのか？よ～く当時を思い返しました。

高校球児は高3の夏の選手権大会が終わると一気に羽目を外します。受験勉強がないこともあり8月から年末にかけて遊びまくり、希望学部推薦がもらえるだけの一夜漬けのテスト勉強に集中して、無事卒業を迎えます。そして教習所に通いつつ、卒業前の3月中旬より大学の体育会野球部に入部します。

そうです毎日大学の下田グラウンドへ通う合間に志木高の卒業式に出席したのです。卒業式後には野球部専用の寮に入寮が控えていましたので、くたくたでそれどころではなかったのです。

すみません。そんな卒業前後だったため、思い出が薄いわけです！

今回、厳粛な卒業式に臨席させていただき、志木会からの寄付贈呈者という大役も緊張感溢れる中で担いました。志木高を卒業した実感がようやく沸き、大変清々しい式典として大切な思い出になりました。みなさま、ありがとうございました。

卒業40周年ご招待

35期　永原 圭司（旧姓　小林）

2025年3月23日。晴天。40年前と変わらない体育館で、現役卒業生とご父兄の晴れやかな姿を拝見しながら収穫祭や卒業式を思い出し、同様に以前と殆ど変わらない食堂では、1日2回ここで食べたなあ、と思いながら、同期の懇親会を設え、83名もの同期、34期の先輩方と旧交を温める貴重な時間でした。

志木高を卒業後、35年を超える時間を経て、「志木高に行って良かった。」と思うことはしばしば。これは私だけではないと思います。志木高のコミュニティは色んな意味で「ちょうど良い」んです。35期の仲間とは、仲良しのグループの飲み会やゴルフなど、今でも年に数回は集まる機会があります。私は、インドネシア・ジャカルタ勤務時に35期が2人もいて、3人でジャカルタ志木会が実現した、という経験もさせてもらいました。

昨年まで、開設75年事業の新棟建設を目した募金活動があり、OBが協力して同期やクラブの仲間に声をかけ、見事に目標を超える金額が集まったようです。35期では志木会副会長も務める宇野宏君が声掛けを進めてくれました。志木会幹部の皆さんのリーダーシップに敬意を表したいと思います。

今回、完成した新棟「光彩（こうさい）館」を初めて拝見しましたが、新棟の名称「こうさい」は、福澤諭吉先生が唱えた「人間交際（じんかんこうさい)」から来ているとのこと。福澤先生は、今、普通に「社会」と訳される ”society” の訳として「人間交際」を提唱し、実際に使っていたそうです。人と人との交際が果たす役割を重んじ、信頼、寛容さ、闊達に交際する気風こそが慶應義塾の伝統であり、人間交際によって培われる総合的な人間力に価値があると。「光彩館」、志木高の文化を表す素晴らしい名称です。我々の誇りですね。

最後になりましたが、河野校長、森岡主事、当日参加くださった篠田元教諭、澤田元教諭、足立元教諭、いつも縁の下で支えてくださる芹澤さんはじめ学校関係者の皆様、慶應義塾常任理事の山内様、小坂会長はじめ志木会の皆様、素晴らしい機会にご招待いただいたことにこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和６年度　慶應志木会　収支報告書

［令和６年４月１日～令和７年３月31日］

単位：円

収入		支出	
適要	金額	摘要	金額
前期繰越金	10,205,506	会報費	3,010,788
		会議費	902,384
維持会費	0	交際費	100,645
新入会費	6,870,000	通信費	31,910
物販収入	513,460	事務費	34,392
雑収入	161,581	事業費	1,122,961
（含：通信費）	0	パソコン関連費	218,038
会議費	338,000	寄付金	1,000,000
事業費	29,000	（収穫祭・卒業式・国際交流支援）	
		卒業式	770,000
		（卒業生記念品・志木会賞）	
		75周年準備対策費	50,462
		雑費	8,275
		（支払手数料等）	
収入小計	7,912,041	支出小計	7,249,855
		次期繰越金	10,867,692
合計	18,117,547	合計	18,117,547

預金残高明細（令和７年３月末現在）

銀行	種別	摘要	管理	残高金額
ゆうちょ	総合	新入会費口	原田	8,900,827
ゆうちょ	振替	パーティ会費口	原田	0
三井住友	普通	小口～大口	甲斐	472,412
ゆうちょ	振替	維持会費口	芹澤	91,384
埼玉りそな	普通	小口	芹澤	1,403,069
合計				10,867,692

【監査報告】

慶應志木会会則第18条に基づき、令和６年度（令和６年４月１日～令和７年３月31日）の収支報告を監査した結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

令和７年５月１日

監事　上西　正之　（押印略）

監事　森田　榮一

慶應志木会役員・幹事・クラブ幹事（令和７年度）

■執行部

◆役員

役職	氏名	期	担当
名誉会長	河野　文彦	（校長）	
会長	小坂　孝樹	（30期）	
副会長	深川　和己	（30期）	渉外担当
	宇野　宏	（35期）	総務･情報管理･財務･企画･広報担当
幹事長	佐藤　正人	（30期）	
副幹事長	髙﨑　洋一	（30期）	
監事	上西　正之	（23期）	
	森田　榮一	（23期）	

◆事務局

氏名	期	担当
田内　久晴	（37期）	事務局長
永井　利宗	（27期）	企画･広報担当
原田　仁敦	（30期）	財務担当
甲斐　正英	（40期）	財務担当
青木　勝	（33期）	総務担当
天野　徳雄	（36期）	総務担当
田口　錬	（43期）	総務担当
藪原　一暁	（43期）	総務担当
中西　聡人	（43期）	総務担当
中西　太一	（30期）	広報担当
大久保佐太郎	（55期）	広報担当

■顧問

龍野　和久（１期）	五老　輝彦（９期）	品川　雅貴（12期）
原田　薫（15期）	鹿野　元章（16期）	阪東　宗文（16期）
西村　孝一（17期）	増山　治一郎（17期）	金子　博志（20期）
松下　賢次（21期）	中村　弘司（23期）	坂上　隆彦（23期）

■幹事

期	卒業年	幹事					
1	S.26（1951）年卒	藤井　淳	松本　仙太郎				
2	S.27（1952）年卒	忽滑谷　岱司					
3	S.28（1953）年卒						
4	S.29（1954）年卒	高橋　公郎	伊藤　金次郎	三浦　靖夫			
5	S.30（1955）年卒	寺嶋　延行	関山　清	木下　聰			
6	S.31（1956）年卒	茂木　光義					
7	S.32（1957）年卒	熊崎　順次郎	鈴木　正治	渡辺　正			
8	S.33（1958）年卒	青木　宏至	品川　宗弘	大須賀　均	磯部　和宏		
9	S.34（1959）年卒	五老　輝彦	佐々木　弘暢	荒井　浩			
10	S.35（1960）年卒	馬場　紘二	斉藤　彰	吉川　忠裕			
11	S.36（1961）年卒	西　光由	渋谷　哲男	扇原　浩志	佐藤　直司		
12	S.37（1962）年卒	川久保　達也	岡田　幸次郎	並木　美和			
13	S.38（1963）年卒	清水　武寿	椎野　開八郎	飯島　智			
14	S.39（1964）年卒	三関　峻	佐久間　義雄	藤田　正壽	加藤　忠明	飯田　彰久	
15	S.40（1965）年卒	小笠原　準一	倉田　伸二	深瀬　啓司			
16	S.41（1966）年卒	緒方　信次	恩田　博司	近藤　隆夫			
17	S.42（1967）年卒	荘　敬典	北村　基樹	前嶋　晶廣	野村　真	中村　康二	川鍋　二朗
18	S.43（1968）年卒	伊藤　博行	黒田　豊	間宮　勝	三村　信二	青沼　広海	大場　紹吉
19	S.44（1969）年卒	齋藤　治雄	鈴木　基晴	小森　雅裕			
20	S.45（1970）年卒	杉　雅俊	金子　博志				
21	S.46（1971）年卒	飯島　敏一	福地　敏之	折登　泰樹	小林　哲男	森　光太郎	内山　洋一
		長野　和郎					
22	S.47（1972）年卒	金子　康雄	櫻井　造雄	三木　哲郎	深澤　澄	江夏　雄二	増田　裕
		城　克	深井　昭				
23	S.48（1973）年卒	夏目　雅	梅澤　由起	森田　榮一	三義　英一	太田　敏一	嶋田　廣雅
24	S.49（1974）年卒	京本　修	塩澤　修平	山本　耕司	中田　一朗		
25	S.50（1975）年卒	小川　洋	髙橋　宣行	島田　徹			
26	S.51（1976）年卒	山田　純男	船山　剛	小池　雅澄	善木　達明	澤田　尚史	中川　龍士
		渡辺　規人	荻原　弘幸				
27	S.52（1977）年卒	鬼頭　真一郎	金森　悟	髙橋　健三郎			
28	S.53（1978）年卒	伊能　重雄	池田　欽哉	南村　譲治	大池　真人		
29	S.54（1979）年卒	鳥羽　克治	清重　利昌	池上　忠嗣	相田　英文		
30	S.55（1980）年卒	岸田　一男	中西　太一	鈴木　克彦	岡　篤		
31	S.56（1981）年卒	吉村　康	荻田　健之	小形　久士			
32	S.57（1982）年卒	町野　素久	横江　資友	梅田　幸彦	鈴木　厚	伊勢　学	
33	S.58（1983）年卒	瀬田　俊一	久保　修一	稲村　隆司			
34	S.59（1984）年卒	大内　正博	山下　孝	古長　玄一郎			

35	S.60（1985）年卒	須佐美　文忠	昌谷　健司	岩瀬　克也	永原　圭司	坂井　琢磨	萩原　太造
		大澤　宏樹					
36	S.61（1986）年卒	阿部　元雅	澤田　克己				
37	S.62（1987）年卒	鍋島　康友	永田　博詳	植島　博之	原田　純一	木村　尚敬	
38	S.63（1988）年卒	知久　康成	中里　栄基	金子　隆則	荒瀬　光宏		
39	H. 1（1989）年卒	丸山　和紀	田中　浩樹	大西　重夫	鈴川　智徳		
40	H. 2（1990）年卒	井上　晴生	税所　篤史	森　直樹	鈴木　規央		
41	H. 3（1991）年卒	柏木　徹	三田　貴良	須田　光貴			
42	H. 4（1992）年卒	安　重煥	小島　圭	御山　義明	大澤　康算		
43	H. 5（1993）年卒	高松　智之	香野　日高	遠山　尚			
44	H. 6（1994）年卒	宮田　真詩					
45	H. 7（1995）年卒	若松　洋雄	小山　一	小川　圭	星川　太輔		
46	H. 8（1996）年卒	谷口　剛	川崎　聡				
47	H. 9（1997）年卒	小寺　俊且	谷　嘉康	森　茂之	西本　祥仁	濱岡　勇介	小林　圭
		前北　馨					
48	H.10（1998）年卒	亀山　雄高	黒川　真行	寺西　富広			
49	H.11（1999）年卒	石川　快	廣江　安彦				
50	H.12（2000）年卒	髙岡　功	徳田　征之	小林　敬英	齋藤　収		
51	H.13（2001）年卒	石井　強太	森川　渉	浅岡　良彦	治田　和明		
52	H.14（2002）年卒	毛呂　淳一朗	渡邉　慶太郎				
53	H.15（2003）年卒	森岡　多門	林　憲				
54	H.16（2004）年卒	塚本　大夢	中川　雅之				
55	H.17（2005）年卒	池端　俊太	小泉　貴史				
56	H.18（2006）年卒	大久保　匠馬	若林　隆晃	横澤　慶太	原口　惇		
57	H.19（2007）年卒	和田　亮	時田　亜希夫				
58	H.20（2008）年卒	宮山　明	佐藤　友紀				
59	H.21（2009）年卒	箱﨑　勇人	本多　清礼				
60	H.22（2010）年卒	岡田　哲哉	中込　健太	工藤　雄太	松井　洋	古川　創一	
61	H.23（2011）年卒	井上　裕紀	富澤　直嗣	今野　秀一			
62	H.24（2012）年卒	荒木　謙人	岡本　尚之	加藤　将平	椎名　翔平	武藏　泰	
63	H.25（2013）年卒	星野　真瑠也	星野　宏太				
64	H.26（2014）年卒	市川　広大	巽　祐一	池上　太悟	亀倉　玲	森　大和	内村　朝樹
		新保　直毅					
65	H.27（2015）年卒	秋田　雅信	友野　雅樹	三浦　俊哉			
66	H.28（2016）年卒	小林　翔	恩田　真希				
67	H.29（2017）年卒	菱刈　太一	本間　健太郎	大森　脩平	堀内　悠生	今野　裕三	
68	H.30（2018）年卒	松田　高幸	齋藤　正人				
69	H.31（2019）年卒	中山　元貴	堀永　尚				
70	R.2（2020）年卒	長合　哲弥	關山　輝流	今野　真孝			
71	R.3（2021）年卒	遠藤　界	脇田　克志	小溝　大	川津　智由	及川　太陽	細井　快
72	R.4（2022）年卒	千葉　達博	桑名　郁弥				
73	R.5（2023）年卒	内田　貴久	長山　聖				
74	R.6（2024）年卒	夏　天碩	後藤　大翔				
75	R.7（2025）年卒	小嶋　由平	沈　喆豪	関　大貴			

■クラブ幹事

枇杷の会　深瀬　啓司（15期）
硬式庭球部　秋山　太郎（38期）
硬式野球部　山下　孝（34期）
應援指導部　渡辺　伸一（17期）
卓球部　浅生　潤（23期）
バレー部　進藤　英典（23期）
ホッケー部　菅野　芳哉（29期）
弓術部　小宮　雄造（30期）
端艇部　水井　智基（36期）
軟式テニス部　枇々木　規雄（34期）
バスケット部　木村　尚敬（37期）
バスケット部　平賀　敦巳（41期）
サッカー部　中村　直人（38期）
スキー部　渡辺　一仁（51期）
鉄道研究会　滝上　紘之（52期）
ワグネル　南　琳太（61期）
ワグネル　山浦　元気（61期）

【幹事の訃報】

中西　廣策君（19 期）

謹んでご冥福をお祈りいたします

編　輯　後　記

大阪万博もまもなく折り返し。縁あって裏側から覗ける機会が何度かありました。今の日本の状況を凝縮させたような・・・志木会にはそんな胡散臭さはありません（笑）（27 期永井）

今後の情報発信が変わっていきます。今の時代に合った方法かつどの世代にもわかりやすいものを目指し、協力していきたいと思います。（事務局・芹澤）

慶應志木会会報　2025.vol.45

編輯・発行　慶應志木会
（慶應義塾志木高等学校同窓会）
〒353-0004
埼玉県志木市本町4-14-1
TEL：048-471-1959（志木高内）
発　行　人　小坂　孝樹
発　行　日　2025年7月1日
印　　　刷　㈱アレックス
ウェブサイト　https://www.keio-shikikai.com/
電子メール　info@keio-shikikai.jp